



学友だより

碩愛

No.60

H31.2.4発行

立春

先週は寒い日が続きましたが、昨日あたりから一気に温かくなりました。暦の上では今日が立春。三寒四温の時期ですね。

このあと、19日が雨水、3月6日は啓蟄、そして21日が春分の日。日一日と春の足音が近づいています。受験生にも続々と春の知らせが届くことを祈っています。



教室で出たゴミは…？



毎週金曜日の帰りの会が終わると、校舎内で左の写真のような光景が見られます。手にしたビニル袋にはゴミがたくさん。

運ばれた先は1階のストックヤードです。

美化委員会の活動で、各クラスで出たゴミがいったん1階のストックヤードに集められ、そこで、正しく分別がされているか確認し、可燃ゴミや不燃ゴミのほか、リサイクルできるものなどに整理します。

今は、8年生が9年生から引き継いで全校のお世話をしています。ごころうさま。

自分の役割をきちんと果たす。こうした児童生徒会の自治的な活動により、碩田学園の日常生活が成り立っています。また、教室だけでなく地球の環境も守られると思います。



各教室で、決められた通りにごみを分別していますか。

誰かがやってくれるだろうではなく「自分がやる！」という人に。それが自主。

子の話を聞く

「以前はよく話してくれたのに、近頃ちっとも…」とよく耳に

します。年頃になると、親と話をしなくなる。それは成長・自立の一つのステップですよ。

でも、ちょっと待って。話さなくなったのか、それとも聞かなくなった？どうすれば、気持ちよく会話ができるでしょうか。大事なことは、子どもでも大人同士でも同じですよ。

まずは、相手の話を肯定的に受けとめて、相槌を打ったりうなずいたりしながら聞くことが大事。その中で、相手の話の腰を折ったり、自分の話題に変えたりしないで聞くことが重要なマナー。また、相手の話す内容を変えずに言い換えるといったことも、ちゃんと聞いていますよというメッセージとして伝わります。オウム返しでもOK。そのほか、ほめたり、質問したりして話を膨らませるといったことも効果的です。

更には、ミラーリング効果という技もあります。例えば、相手が早口なら自分も早口で話すとか、相手が暗い顔だったら自分も暗い顔…といったテクニックです。これは、自分と同じか似たところがあると人は相手を好意的に受け止める心理を利用したものです。ただ、露骨に全く同じ動作をすると逆効果なので、相手が髪を触ったら、自分は鼻を掻いたり眼鏡を上げたり、相手がお茶を飲んだら、自分はお茶菓子を食べるなど、話し手と似た行為をします。すぐにまねるのではなく、少し遅れてまねをするという少し高度な手もあります。

一方、スマホなどをいじりながら、ついでに聞いているような態度は避けたいものですね。人と人は、思いや考えが異なる部分と共通する部分がそれぞれにあって当たり前です。異なる部分を理解したり、共通する部分を見つけたり…何かを共有することで楽しくなる。会話の中で「あっ！そうそう。私もそうなんよ。」とか「それって、あるある！」「そだね」みたいなことがあると、お互いが楽しく思えますよね。自分が伝えたことで、相手があるように反応してくれると、話した自分もうれしくなる。そういう経験もあるでしょう。上手に聞いてくれる人がいるからこそ、話す人も楽しく話せる。その共同作業がコミュニケーションです。これがうまく図れないと、トラブルにつながりかねません。

相手への思いやりは、こうところから始まるのです。聞き上手な人とお話をしていると、ついつい思いもよらないことまで話していたということはありますか。コミュニケーションの基本は、聞くことと言われます。私も、相手が話したくなるような聞き方ができる人になりたいと思います。

